

| | | |
|------|--------|----------|
| 事業 | 3 | 道徳教育推進事業 |
| 担当所属 | 教育センター | |

【予算額・決算額】(円)

| 予算額 | 決算額 | (財源内訳) | | | | |
|---------|---------|---------|------|------|-----|-------|
| | | 一般財源 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他特財 |
| 428,000 | 284,263 | 284,263 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【決算額の節別内訳】(円)

| | | | | | |
|----|-----|--------|----|-----|---------|
| 08 | 報償費 | 48,000 | 11 | 需用費 | 236,263 |
|----|-----|--------|----|-----|---------|

【実施計画の概要】

| | |
|-------|--|
| 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校に配付された佐倉学副読本などの資料を道徳の時間に活用するよう働きかけます。 副読本のより効果的な活用や資料の改訂に向けて検討委員を委嘱し、実践を通してよりよい指導法を提案してもらい、各学校へ情報提供します。 |
| 事業の目的 | 市内小中学生の道徳意識の現状と課題を踏まえ、郷土の先人や佐倉を素材としたものから道徳副読本を作成し、子どもたちが豊かな心を育み、人間としての生き方の自覚を深め、心の教育の充実を図れるようにします。 |
| 事業の効果 | 充実した道徳教育を継続して行うことで、市内小中学校に通う児童生徒に豊かな心が育まれます。 |

【事業の概要】

- ・佐倉学道徳副読本の活用調査を行い、活用法見直しのための資料としました。
- ・副読本検討委員を委嘱した市内小中学校の教員に、佐倉を素材とする新たな教材開発の検討を依頼し、教材作成と授業実践を行いました。
- ・中学校版副読本を増刷し、各中学校に新たに 80 冊ずつ配布しました。

【活動指標・成果指標】

| 指標名 | 平成 26 年度 | 平成 25 年度 | 平成 24 年度 |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 佐倉学道徳副読本検討委員会の開催回数 | 3 回 | 2 回 | 2 回 |
| 副読本配付数 (小学校) | 0 部 | 各校 40 部 | 0 部 |
| 副読本配付数 (中学校) | 各校 80 部 | 0 部 | 0 部 |
| 副読本を活用した道徳授業実施校数 | 34 校 | 34 校 | 31 校 |